

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	12	2	1	17
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	5	2	17
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	1	12	3	1	17
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	3	3	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・信頼関係が築けるように、家族・本人の声掛けを心がけている ・楽しい施設になるようにイベントや季節感のあるサービスを行っている。 ・ミーティングや業務日誌でご利用者の情報やサービス内容を確認している ・介護計画書、アセスメントにしっかりと目をとおす	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・レクに参加したくないなど、ご本人の求めていることを聞き出せっていない場合がある ・事前情報に沿ってのアセスメントにとどまりがち ・送迎や訪問の際、ご家族の不在が多く関係づくりができない ・不安を取り除くような声かけ、関係作りに欠けている	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・職員同士のコミュニケーション(情報交換)をより密に測り、送迎や訪問の際に少しでもご家族からも情報を得られるよう努力する ・新規利用者については情報が不十分なまま開始となる場合があるため、早めに情報収集してミーティング等で話し合う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田
河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		4	10	3	17
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		5	10	2	17
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		4	11	2	17
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	1	3	10	3	17

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・残存能力を引きだし、出来ることへつなげること
- ・自立支援を考え、できることは自ら行ってもらう

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の目標が分らない方は、介護者の意向に添うような関わりになってしまっている
- ・レクに参加したくないなど、ご本人の求めていることを聞き出せていない、把握できていない
- ・状況が変化する毎に、自己実現につながるアセスメントができているかが不明

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・本人や家族と目標（ゴール）について話ができる機会をつくる
- ・レベル、個性に応じたレクリエーションを行い、レクリエーションの中からも本人のニーズがひきだせるようにする

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)
3. 日常生活の支援	メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできっていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	11	3	17
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	1	14	2		17
③	ミーティングにおいて、本人の声にならぬ声をチームで言語化できますか?		9	6	1	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	13	2	1	17
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できますか?	1	13	1	2	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 看護師を中心にミーティングや業務日誌で情報を共有し、介護の統一性をはかっている 身体的、精神的变化はその日のスタッフに声かけし、日報や実施記録にも残し申し送りをする。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 認知症のご利用者からは以前の様子はうかがえない場合がある。ご家族からも聞き取れていない 現状把握や今後の支援を考えるばかりで、サービス開始後は以前の生活ぶりや環境を忘れてしまう 本人の自宅での生活環境が把握できていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 業務日誌やミーティングを利用して、利用者の情報を共有し、介護の統一性を図る。場合によっては個々のノートを作るなどして、職員同士が把握しやすいようにする 利用者と会話する機会を増やし、生の声も記録に残す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 27年 10月 27日 (17:30~20:30)
------------------	----------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川
---------------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		3	9	5	17
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	3	6	6	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	6	5	17
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1		4	12	17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能のサービス形態は自宅での生活を継続しやすく、家族や地域との関係を維持しやすいと思う ・外出のイベントや事業所でのサロン開催、運営推進会議 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・生活スタイルや人間関係をしっかり伺ったことがない ・最近は民生委員さんと連絡を取ったことがない ・過去の生活状況や人間関係を把握できていない ・介護者として家族と接する時間が少なくコミュニケーションがとれていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能のサービスでは出来ないことを、社会資源を活用し補う ・送迎などの際、家族だけでなく地域の方にも挨拶など声かけをする 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 27年 10月 27日 (17:30~20:30)
------------------	----------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川
----------------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	9	4	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	6	5	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?		6	6	4	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	1		4	11	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用時はスタッフ全員でその日のサービス内容や利用者の状態の確認を行い情報交換している 体調不良時は通いを訪問に変更し、朝・夕など時間をあけて安否確認を行ったり、通院送迎(訪問)したり在宅生活が無理なく続けられるよう柔軟な支援ができている 急な宿泊依頼、通い追加依頼も定員に空きがあればお受けしニーズに対応している 食事面でも形状や量、食器類や避ける食材など配慮している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 日々の関わりから本人の変化に気付いても、自ら意見を表出できていない 時間に追われ、ニーズに合わせた柔軟な対応が出来ない場合もある 自分一人では判断しかねる状況がある 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングをスタッフ1人1人がより積極的に発言できる場にする 記録をよく読み返し、記録からも変化を気づけるようにする 訪問サービスをより充実させる 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)
------------------	-------------------------------------

6. 連携・協働	メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川
----------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	5	1	6	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	3	3	6	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	8	2	2	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	11	1	2	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・サロン開催、近隣保育園の訪問や地域の方との交流も図っている ・推進会議は2ヶ月に一度行っている ・消防訓練は年2回行っている、地域住民も参加している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自治体や地域包括支援センター等の会議は施設長に一任してしまっている ・イベントでの交流・連携があるが、日常での地域とのかかわりが持てると良いと感じている ・サロンへの参加者がまだ少ない 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・施設長だけでなくスタッフも他サービス機関との交流や会議に積極的に参加する ・さとやまサロンの宣伝方法を考える、送迎等も検討する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)

7. 運営

メンバー

吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田
河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言えることができていますか?	1	7	3	5	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	12	2	1	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		10	3	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	6	5	3	16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティング時や面談時に小規模の役割などを伝えている。また、理念や行動指針の確認、事故報告やヒヤリハット・苦情報告に検証し、再発防止に努めている
- ・積極的ではないが、消防訓練など近隣住民の方にも参加していただいている
- ・外部研修にも積極的に参加している

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の行事には参加できていない
- ・業務上での建設的な意見を述べること

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ・さとやまを地域の方に知ってもらうためにも、さとやまからも地域の行事に参加する
- ・外出するにはスタッフの数が不足している
- ・外部研修にも積極的に参加して交流をはかる

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)
------------------	-------------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川
-----------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	12	1	1	17
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できますか	2	8	3	2	15
③	地域連絡会に参加していますか		2	3	9	14
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	9	1	5	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・時間の許す限り研修に参加している ・資格取得に向けて準備している 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネージメントは細かいところまで話あっていない ・事故がおきないよう常に最悪の事態を想定し、危険のないよう介助しているが無事事故には至っていない ・研修で得る知識が偏りがあったり、スキルアップにつながっていない ・慣れてきた気の緩みから事故につながってしまった 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的に研修に参加して行くが、スタッフが同レベルでサービス提供できるように、勉強会にも力をいれる。実技の勉強会も行う ・リスクマネージメントなどより広い分野の研修に参加する 	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 平成 27 年 10 月 27 日 (17:30~20:30)
------------------	-------------------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー 吉田 望月 松井 石塚 後藤 日吉 内田 松田 河合 辛島 鈴木 高橋 棚橋 早川
--------------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	
------------------	--

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	7	1		17
②	虐待は行われていない	14	3			17
③	プライバシーが守られている	8	9			17
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	2	3	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	11			17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は日頃からミーティングなどでも学んでいる ・個人情報管理の必要性・重要性を理解し守っている ・個人情報の記載されたものは鍵のかかる場所に保管している、外に持ち出さない 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・徘徊を続けている重度認知症の方の命の危険を感じるときは、玄関の鍵をかける事がある ・こちらが「拘束」とおもわなくとも、自由を奪う発言や行動があるのではないか 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・拘束していると思った時や、不適切な行動があった場合は職員同士で教え合う ・資格取得後に復習の機会が無い為、利用する事がないと忘れてしまうため反復する ・個人情報や成年後見人制度の研修を行う 	